

西部保健所（日田玖珠地域）の感染症情報

平成24年 第4週

（1月23日～1月29日）

コメント

○インフルエンザの定点当たり報告数が警報レベルを超えています。

定点当たりの報告数が、先週から大きく増加し、警報レベルを超えています。また、学級閉鎖も報告されています。ワクチン接種や手洗い、うがい、咳エチケットの励行により感染予防に努めましょう。

○感染性胃腸炎に注意しましょう。

感染性胃腸炎は、気温が下がるにつれて、悪心(はき気)、嘔吐、下痢などの症状を来すノロウイルス・ロタウイルスが原因のものが多くなります。患者さんとの接触や、食品、飲料水等により経口感染します。治療は、対症療法が中心となりますので、発症した場合は、水分をこまめにとり、水分不足(脱水症)に注意しましょう。特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は水分と栄養の補給を十分に行い体力が消耗しないようにしましょう。予防対策としては、手洗いが最も大切です。

【麻しん情報】

麻しんを予防するには、予防接種を受けることが第一です。

予防接種は1歳から2歳の間(第1期)、小学校就学前(第2期)、中学一年生(第3期)、高校三年生(第4期)に相当する年齢の方は無料で受けることができます。

平成23年5月20日から平成24年3月31日までの間、修学旅行等で海外に行く高校2年生相当の対象者も無料で受けることができるようになりました。

定点報告の結果

	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(水疱瘡)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	肺炎マイコプラズマ	麻しん(全数)
0歳	0.8	0.8							0.8					
1~3歳	6.7			0.3	0.8	0.8								
4~6歳	14.2			0.8	0.3	0.8								
7~9歳	11.3			0.3	0.5	0.3								
10~14歳	15.0			0.3										
15~19歳	0.3													
20歳以上	3.5			0.3	0.3									
計	51.8	0.8		1.8	1.8	1.8			0.8					
前週	24.7			1.5	3.3	2.3			0.3			0.3		

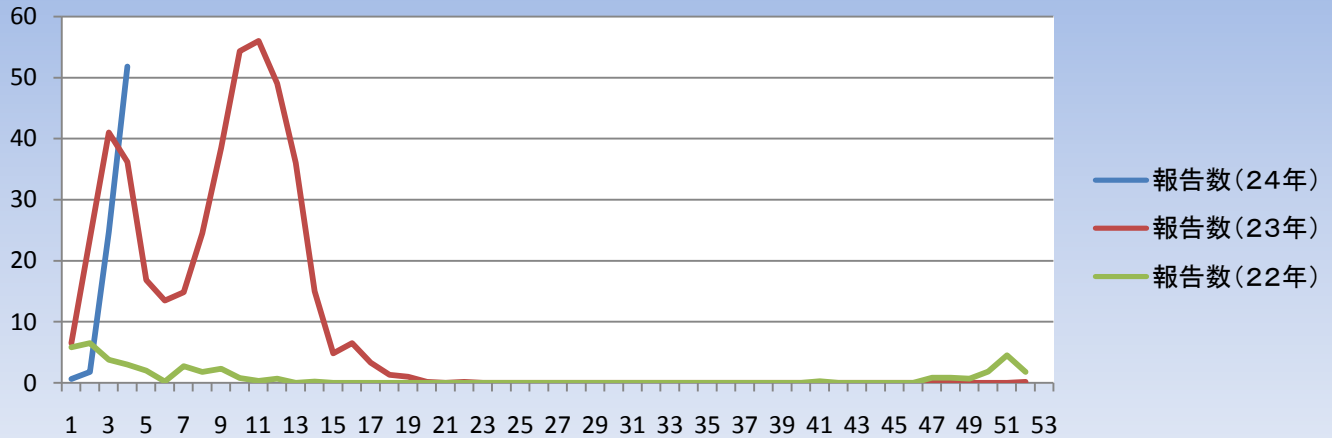
警報レベル

注意報レベル

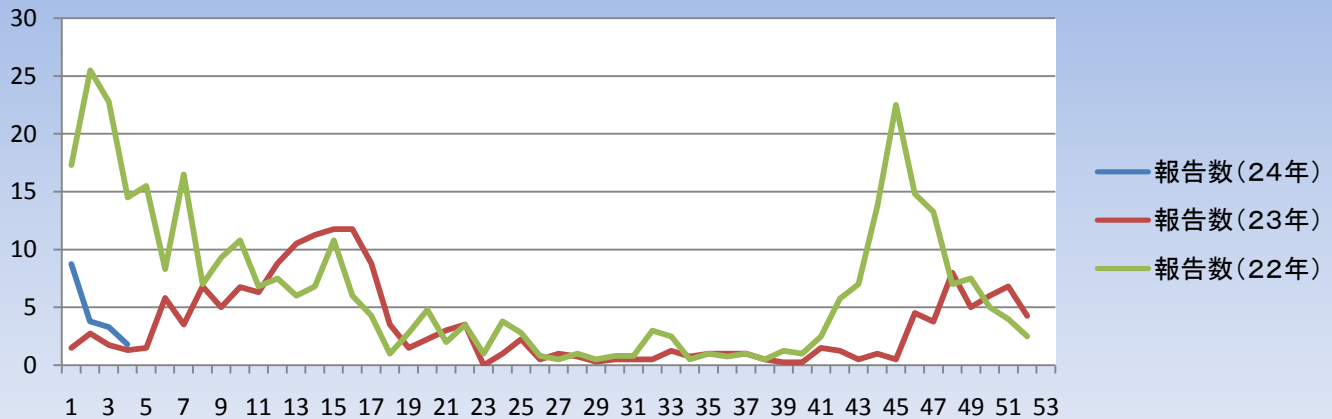


※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上

定点当たり報告数 インフルエンザ



定点当たり報告数 感染性胃腸炎



警報・注意報のレベルの基準値

症状	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
感染性胃腸炎	20	12	

なお、基準値はすべて定点当たりの報告数です。また注意報の「空白」は対象としないことを意味します。